

「ヒメカツオブシムシ(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

5年生の子どもたちが、「教室を掃除していると、必ず小さな黒い虫がいる」と訴えてきた。確かにチリトリのゴミの中に、動く小さな虫がいる。子どもたちの話では、木の床の合板のすき間をかき出すと出てくるらしい。

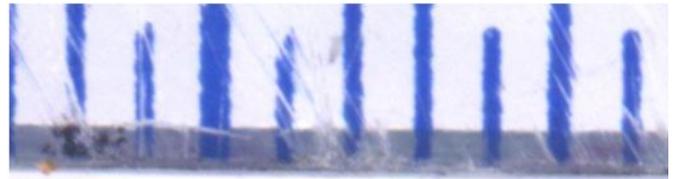


「謎の虫の住み家」 床の合板のすき間にいるらしい

大きさは5mmほど、拡大すればコガネムシに似た甲虫である。全体に黒光りしていて、足だけは赤っぽく、6本あるので、間違いなく昆虫だ。飛んで逃げようとはしないが、ひっくり返ると、翅を広げて姿勢をもどそうとする行動が見られる。「虫の名前を教えてください」というので、数匹引き取って、調べてみることにした。こういう昆虫を同定する場合、一番早いのは、詳しい人に聞くことである。



しかし、本校には昆虫学者はいないので、まずは、理科室の学習支援員の方に、図鑑で調べてもらった。図鑑は、インターネットとちがって一覧性と網羅性に優れているので、不明の生物を調べるには適している。しかし、候補にあがった昆虫は、形状は似ているが、どちらも特徴が微妙に異なっていた。



「腹側から見た拡大写真」

体長は4.5~5mm程度の弱弱しい虫である。

次に頼れるのはインターネットの検索である。どんな言葉で検索するかが重要だ。今回は、室内で頻繁に見つかることと、虫の特徴を入力してみた。



検索結果の中に「ヒメカツオブシムシ」というのがヒットして、写真や説明文の特徴が、完全に一致した。どうやら、衣類や乾物類の害虫らしい。そのことを、附属連携研究会の時に話題にしたら、中学校の家庭科の先生が「あ、それ中学の家庭科の教科書に載ってますよ!」と教えてくれた。教科書に載るほど有名な害虫で、衣類につくと相当に厄介らしい。この虫についてももう少し調べてみようと思った。